



10年後になくなる仕事・なくなる仕事

AI・ロボットの発展により、10年後には49%の仕事がなくなると言われています。

★★10年後になくなる仕事★★

①一般事務員 入力作業やデータ処理はAIの得意分野です。AIの方が迅速・正確です。

②銀行員 銀行窓口で行っていた仕事が今ではインターネット上で完結できます。

また情報量も人間よりAIの方がはるかに多いです。銀行員でなければできない仕事はほんのわずかになると言われています。



③警備員 監視カメラ技術、センサー技術が向上し、今では24時間監視が可能となっています。大型商業施設でも巡回ロボットが稼働しています。



④スーパー・コンビニ店員 電子マネーの普及、セルフレジの導入により、無人コンビニも試験的に展開されています。AIが天気予測をして、仕入れや在庫管理も正確に行えます。

⑥バス・タクシー・鉄道運転士 モノレールなどは既に無人化されています。

⑦工場勤務者 定型的な作業はロボットがやってくれ、ミスもゼロです。

☆☆10年後でもなくなる仕事☆☆



①医者・看護師・介護士 細かい作業や臨機応変な対応、適切な判断はロボットでは代替できません。

②保育士 子供の動きは予測不能なので、ロボットでは対応できません。

③教員 知識を教えるだけでなく、人間関係や社会との関わりを教えたりするので、AIには無理と言われています。



④営業・コンサルタント 「相談に乗る」「提案する」のはまだまだ人間の方が上です。



⑤カウンセラー クライアントの本音を引き出し、感情を理解するのは、AIの苦手分野です。

⑥データサイエンティスト 発想力・想像力・提案力は人間が勝っています。

※本校で人気の一般事務・工場勤務もいずれなくなると言われています。あと約50年働くことを考えて、幅広い職業に興味を持つことが大切です。

ちょっと考えてみよう 「奨学金」

上級学校卒業後、奨学金の返済に困り、自己破産する人が増えています。基本的には奨学金は「借入金」であり、卒業後返済しなければなりません。



(例) 月 30,000 円を 4 年間借り入れた場合

借入総額 $30,000 \times 12 \text{ カ月} \times 4 \text{ 年} = 1,440,000 \text{ 円}$

日本学生支援機構のHPによるとこの借入額だと13年間で返済するそうです。

毎月の返済金額(無利子の場合) $1,440,000 \div 13 \text{ 年} \div 12 \text{ カ月} \approx 9,230 \text{ 円}$

毎月9,230円ずつ13年間払い続けるって、どう思いますか。社会人なりたてでいきなり1,440,000円の借金を抱え、返済に13年かかる。保護者から借りられないか、アルバイトでいくら稼げるかなどをよく考え、借りないで済むなら借りない方がいいかも。ちょっと考えてみよう。